

新型コロナウイルス感染症 学校における新しい生活様式

～学校再開での感染予防対策について～ **生徒用**

起床 (自宅で)

- ・検温して、『朝の健康チェック表』に体温を記入する。
- ・平熱より熱が高めの時や風邪の症状がみられる時、体調がすぐれない時は自宅で休養する。

登校

- ・早く来過ぎない。早くても始業20分前（通常7：50）以降に登校する。
- ・登校後は、廊下等をうろうろせず自教室で静かに読書等を行う。（廊下の密集回避のため）
- ・基本的には常時マスクを着用する。（手作りマスクも可） 忘れたり、失くしたりした生徒は保健室でマスクを借りる。
- ・教室に入る前に石けんで手洗いをする。手洗い後は清潔なハンカチやタオルで拭く。

手洗いのタイミング：登校後、外から教室に入る時、食事の前後、掃除の後、トイレの後、共有のものを触った時 など

- ・教室に入ったら、『朝の健康チェック表』を担任の先生に渡す（教卓の上に置く）。
- ・検温を忘れた生徒は、第一音楽室（1年）、図書室（2年）、2F多目的室（3年）で検温してから、教室に入る。
- ・家庭での検温で37.0℃以上の発熱者は、保健室に行き、養護教諭に健康状態の確認をしてもらい、授業への参加を判断する。
- ・遅刻したときは

① 登校後、職員室に行き、『朝の健康チェック表』を各学年職員に提出する。

② 遅刻者で検温を実施していない場合は、保健室で検温を実施。実施後職員室に行き『朝の健康チェック表』を学年職員に提出する。

授業中

- ・物の貸し借りはしない
 - ・先生の指示に従って活動を行う。（グループ学習などでは咳エチケット等）
 - ・常時2方向の窓を開けて換気し、気流を作る。
- ※ 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、先生にその旨を伝え、マスクを外すなどの処置をする。

休み時間

- ・3密（密閉・密集・密接）を避ける。大声、内緒話、じゃれあい避ける。特に階段は、窓がなく換気が悪いので、距離をとって利用する。
- ・3人以上の集まりを少なくする。大きな声を出さない。
- ・2人でも会話をする時の体の向きに注意する。（可能な限り真正面を避ける。）
- ・体調不良になった場合は、原則1人で保健室に来室する。（感染拡大防止）
- ・対角線上に窓を全開にして換気を行う。（1回5分程度）

給 食

- ・手洗い・うがい・消毒のため、**給食の時間 10 分増やしました**。給食当番は先に手洗いするように譲ってもらい、洗った後に白衣を着る。
- ・前向きで給食を食べる。食事中は、机上にハンカチ等を置き、咳エチケットを徹底する。
- ・配膳は、人数を制限しながら並び、配膳する。
- ・「いただきます」の後マスクを外し、「ごちそうさま」の後マスクを着用してから片づける。

昼休み

- ・3密(密閉・密集・密接)を避ける。
- ・3人以上の集まりを少なくする。大きな声を出さない。
- ・2人でも会話をする時の体の向きに注意する。(可能な限り真正面を避ける。)
- ・食後の歯磨きは時間差を設けて、ソーシャルディスタンスを意識して並ぶ。
- ・校庭で遊ぶ際は、じゃれあうようなことはしない。

清掃指導

- ・清掃終了後、手洗い・うがいを行う。(共用の物品等を使用しているため、清掃終了後石けんで丁寧に手洗いを行う) **帰りの会までの時間を 5 分増やしました**。

部活動

- ・3密を避け、先生の指示に従って、活動する。
- ・下校前に、手洗い、うがいをしてから帰る。部室等の整理整頓を心がけ清潔に保つ。

下 校

- ・階段や昇降口で話さず、3密を作らない。
- ・だらだらおしゃべりしたりせず、まっすぐに帰る。マスクをつけて帰る。
* 下校後、先生方が教室や特別教室等、消毒を行います。

※職員室の入室禁止について

- ・職員室内の生徒の出入を原則禁止する。(密集回避のため)・・・テスト前の入室利用と同じ
- ・教科係は授業後に次の授業の確認をする。
- ・授業の前に、教科担任を呼びにいかない。(密集回避のため)

※トイレ・水道について

- ・トイレの窓は常に開けておく。
- ・給食前は混雑するので、指定された場所を使用し、給食当番には近いところを使用させ、順番も優先させる。
- ・水道・トイレが混雑していない場合は、状況に応じて指定以外の場所を利用してもよい。

※偏見・差別のない環境づくり

- ・コロナウイルス感染症予防に対する正しい知識を持ち、不安による過剰な反応はしない。